

「センター試験」を知ろう！

通称「センター試験」は、独立行政法人である大学入試センターが主催する試験で、大学進学希望者の高校段階の学力到達度を判定することを主目的としています。国公立大学のすべてと、私立大学の約9割が利用する国内最大規模の試験です。問題はどの出題科目も、全国平均点が6割程度になるように作問されており、難問・奇問を排した良質な問題中心に構成されています。一方で、試験時間に比して問題量が多いため、基礎レベルとはいえ、十分な対策も必要となる試験です。

Q1. どんな試験？

- 6教科30科目の中から選択受験するマーク式テスト（次の表にある出題教科・科目の中から、受験生は志望大学・学部等の指定に従い、教科・科目を選んで受験する。特に理科は、①[基礎を付した科目]と②[基礎を付していない科目]の2グループに分かれ、科目選択の方法が複雑なので要注意。模試の段階から、受験科目の間違いないよう、細心の注意が必要です）

表：「2020年大学入試センター試験」出題教科・科目

教科	出題科目	試験時間(配点)	教科	出題科目	試験時間(配点)
国語	国語	80分(200点)	理科	① 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	[理科①] 2科目選択 60分(100点)
地理 歴史	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B	1科目選択 60分(100点)		② 物理 化学 生物 地学	[理科②] 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(200点) <うち回答時間 120分>
	公民	現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済	2科目選択 130分(200点) <うち回答時間 120分>	外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語
数学	① 数学I 数学IA	60分(100点)	注) 理科は次の4種類の選択方法のうちから1つ選んで解答する(選択方法は出願時に申請。 A: 理科①から2科目 B: 理科②から1科目 C: 理科①から2科目及び理科②から1科目 D: 理科②から2科目		
	② 数学II 数学IIB	60分(100点)			

- 国公立大学のすべて、私立大学の約9割が利用する共通試験（国公立大の一般入試では原則、「センター試験」と大学ごとに実施する「個別（2次）試験」の合計点で合否を判定。私立大では、各大学で独自に行う個別一般入試とは予め定員を分けて、「センター試験のみ」と「センター試験+独自試験」で選抜を行っている。割合では前者の方式が多い）
- 2019年1月のセンター試験では、出願者総数は57万6,830人、現役高校生は、46万4,950人が出願した！（不動岡高校では例年ほぼ100%が出願する）

Q2. どの科目の受験者が多い？

- ◆ 英語の受験者数は約54万人、国語の約52万人がこれに続く。国公立大が課す標準的なパターンである5教科7科目型の受験者数は29万5,090人で、センター試験受験者の54%に達する。
- ◆ 「地理歴史&公民」2科目受験者（主に国公立文系志望者）では、日本史Bを軸とした選択が多い。最も多いのが「日本史B+現代社会」で、以下に「日本史B+政治・経済」「日本史B+倫理、政治・経済」「世界史B+倫理、政治・経済」「地理B+現代社会」と続く。
- ◆ 理科の「選択方法（左頁の表右下の注参照）」別受験状況は、パターンA（基礎2科目：37.6%）、B（発展1科目：8.5%）、C（基礎2科目+発展1科目：4.7%）、D（発展2科目49.1%）。Aの内訳では、最多が「化学基礎+生物基礎」で、「生物基礎+地学基礎」がこれに続く。Dでは、最多が「物理+化学」、「化学+生物」がこれに続く。

Q3. 平均得点率は？ 目標得点率は？

- センター試験では、どの科目も原則として教科書の範囲内で出題される。国公立大学で最も多い「5教科型」での平均得点率は、ここ5年間は60%弱で推移している。国公立大志望者は、5教科での得点率で70%以上が目標となる。
- さらにセンター試験で得点率80%を突破すれば、「センター高配点の国公立大志望者は、逃げ切り合格の可能性が高まる」「旧帝大などの難関大合格も視野に入ってくる」「余計な重圧から解放され、ゆとりをもって2次試験に臨むことができる」「センター試験利用入試の段階で、私立大の合格を狙える」等、大学受験全体を有利に展開することが可能となる。

センター試験NGパターン ~先輩の過ちを繰り返すな！~

- ① 「マーク式だろっ！ 2次私大より簡単！！」とセンターを軽視→1次敗退、志望変更…（心得：「1次」が万事。油断大敵。センターは思考力を問う良問揃い、基礎的だが決して易しくはない！）
- ② 先走って、いきなり過去問演習（心得：段階無視の学習に効果なし。先ずは地道に授業中心の基礎固めを！）
- ③ 知識をひたすら暗記するだけ（心得：知識をインプットしたら、必ず問題演習でアウトプットせよ！）
- ④ 選択肢を適当に選んで、○×を付けるだけ→本番で類似問題が出たのに不正解（心得：過去問演習や模試復習では、選択肢の誤りの根拠を必ず押さえること。問題演習では先ずは「質」重視！）
- ⑤ 「まだ間に合う！」と、根拠のない先延ばし。（心得：受験勉強で「明日から…」は絶対禁句！「今日から」「いまから」始められない者に栄冠なし！！）

夏休み以降の「応用力養成期（9&10月）」「実戦力養成期（11&12月）」に大きく飛躍するために、夏休みまでの「基礎力養成期」のいまを大事にすること。部活を引退してからでなく、部活を引退するまでの過ごし方が勝負の分かれ目です。先ずは6月8日実施のベネッセ・マーク模試へ向けた準備を始めましょう！！